

永標コルク工場争議解決報告

関東合同労働組合本部争議部
永標コルク工場争議部

労働組合破壊を目的として支那部長遊橋君を司言動不謹慎
 リの理由を以て敵首とする永標コルクの資本家に打つた。其の
 界と圧制に反抗して、社会正義の確保と、資本の意識的の労働
 組合に打つる攻勢に敢然と罷業を以て争ひ永標コルク工場の
 議団は、戦の開始以来、毎月、去る三月十日、如き条件を以て
 先づ、争ひのホクを納めた。唯、我々は最も強く主張し、最も強
 及拒せざるは、組合圧迫を目的として行はれ、敵首に打つる取
 レハ、要求の貫徹を見せしめ、お名を得たか、ヒシトである。
 其の理由は、本争議団の参加人員が極めて僅少で、裏切者の多数
 に作業に従事しつゝ、ある関係上、工場側が殆んど生産に打つる苦
 痛も感ぜざるに主因するものであることをお知り願ひたい。此の
 矣は、我々の常備に意を用ひ、おぼろげに知らぬものである。
 最前、本争議に打つて、最前、物質的に、労働的に、精神的
 に限りなく、助力を賜はりし、ヒシトを深く謝する次第である。

解決条件

一 會社は遊橋君及び松君の復職を認めよ